



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今まで原爆のことは、イカゞらば、死んでしまった出来事、ぐゞい、思、てたけど、今日話を聞いて、人が生きてるのに、死んでゐるような格好になってしま、たり、周りのものが全部なくな、ってしまう、とても恐ろしいことだ、たと分かりました。なぜ戦争にな、たのが理由が知りた、い、です。今日、人間は、とても自分勝手だ、な、と思、いました。上、の人が決めたこと、で、広島だけで、十万人の人が死んでしま、たから、ぼくは、絶対に戦争はしない、よう、にしたい、です。でも、今も世界には、た、く、さ、人の戦うために作ら、れた武器や爆弾が、あ、る、と思、うから、今あ、るものはしょうがない、けど、こ、れからは武器を作ら、ない、で戦争の恐ろしさを身をも、って教、えてく、れた被爆者や戦争で殺された人々の思、いを無駄にせず、平和な世界にしたい、です。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

わたしは、原爆先生の特別授業を受講して、原爆にはあまりきょうみがなかったけど、あらためて、原爆は、とてもきけんだと思いました。また、候補になった者市に、東京が入っていらなくてよかったよな。でもほかの候補になった者市かわりそうだとおもいました。広島に投下された原爆「リトルボーイ」が3.12m約4tでリトル(小さい)じやないなと思ったしとてもきけんだと思いました。





じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今まで、原爆のこしを考えたたりしなかつたけれど、今日、原爆先生の特別授業を受けて、人々の苦しみや大変さを知ることができました。そして、原爆のせいで、原爆症にかかって、死んでしまった人ができたり、生きいけかもある人がたくさんできておられるのだと思いました。その中でも、義三はけかをしている人々の手あてをしてあげたり、かえらば日本を守るため戦ってあげた姿が、すごいと思いました。ぼくなら、こもすもてたちおのていけなれんと思ひま。あと、一番おどろいたことは、原子爆たんの熱です。なぜなら、太陽よりも熱い物はないと思っていたのに、太陽よりも熱いものがあるのだとびっくりしました。それ、あの原子爆たんが落ちてきたら、とてもおそろしいと思ひました。原爆先生のおかげで、原爆のこしを知ることができました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

太陽よりもず、とあつい熱系泉をみて  
大火傷を負った人々や今でも原爆  
症で苦しんでいる人がいたと知り  
原子爆弾は一生使、てはいけな  
いものなのだと改めて思いました。  
皮ふは焼けはかれて人々の尊い  
命が亡くなってしまい放射線が家  
に帰れない人が出てきてしまったのも  
悲惨だと思いました。  
一瞬ですべてを焼きつくしてしまう  
原子爆弾を今でも保有して  
いる国がいっぱいあるので  
また完全に武器が排除されたわけ  
ではないですが、これから少しずつ  
武器が必要じゃなくなる平和な  
世になっていけたら良いなと  
しみじみ思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆先生が話してくれたことが、本当  
にあったことだと思つて、そして、これが自分  
が生きている時にあっていたら、太陽の  
6000℃より1000℃も高い7000℃もの熱、音速  
よりも速い衝撃波、体に悪い放射線  
により原爆症になつてしまつたりと、今では  
考えられないようなことが次々に起きて  
しまつていて、心に深く刻まれ、風化  
がおきてしまつていることを知り、私も、  
原爆先生みたいに次の人へ、次の  
時代へ、こんなことが二度と繰り返す  
ことのないように努力をできるおきり  
して、いさなしく考えることがで  
きました。また私は広島へ行ったこと  
がありません、ですがお話を聞いて  
リアルなたいげんをしたような気持ちに  
なりました。見実ではもっともって考えている  
ことが悲小惨な出来事だつたというこ  
とを思い知らされました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾を落とす場所に条件があたり、候補になった都市があたりしたのがこわいと思った。原子爆弾の表面温度が太陽の温度、6000よりも高いのがおどろいた。原子爆弾が落とされたときの話の、体が赤くげとして、ひふがただれしていたという話を聞いて本当にあったことがおそろじかった。この世界で本当にあてひくりした。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆について知らなかったことが授業で分かり  
 すごく悲惨なことも分かった。いちばん心に残  
 った話は原爆の爆発が太陽よりも熱いとい  
 うことです。熱いより放射線が強いイメージがあ  
 ったのでおどろきました。あと、人の名前が飛行  
 機や爆弾につけられているのもおどろきで原爆  
 を投下する場所も場所によって爆発する効  
 果があるのも分かりました。この授業で自分  
 自分が池田義二受けたら絶対命絶  
 聞かずにそこから大急ぎで逃げたいから  
 当時の悲惨さを忘れずにこの授業のことを  
 覚えていきたいです。また授業を通じ原爆を再  
 べていきたいです。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の特別授業を受けて戦争の悲惨さを改めて実感しました。たとえば、原爆の温度は太陽の温度よりも高い7000℃ということや、地上では3000℃となって熱風が広がって行って建物が一瞬で焼け落ちてあとかたもなく消えてしまったことにおどろきました。また、衝撃波は音よりも速く、衝撃が伝わってから音が伝わることにもおどろきました。特に、原爆を浴びた人の皮ふや肉が垂れ落ちて手を前に出して赤い目助けを求めている映像、大火傷をしている人の傷あとから虫が出ているところに強く衝撃を受けました。

これからも、戦争の悲惨さを忘れずに今日原爆先生の特別授業から新しく知ったこと、学んだこと、感じたことを心に刻んでいきたいと思いました。また、このようなことを二度とおこさないように後世に伝えていったり、犠牲になって命をおとしてしまった人たちがいるということを忘れずに生きていきたいと思いました。





名前は裏面に記入してください

じゆこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆についてのあそろしさについて  
知るところが二つあります。一つめは、  
仮に、生きのびたとしてもさうい、しうで  
死んでしまうという事です。二つめ  
は、あ、とちがう気がしますが、ひばく  
者がもろかなり亡くなっているとい  
う事です。自分が小学6年生のうち  
に原爆について知っていますか、何年  
かた、たころにははふうかしてしまいかも  
しれません。だからこそ今のうちに  
あたまたにふちこんでいる人々にお  
そろしさをおしえていきたいです。  
できるかな？ じゃねえ。やるんだよ！！  
あとお母さんとお父さんにもおしえ  
ます。あ、とあ、とおどろくとおも  
います。いつか広島の原爆はくふかんに  
もい、てみたい。今回はきょうな体  
験をさせていただき、誠にありがとう  
ございいます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾の力はすごくて、太陽を  
超える温度を出してしまうのが怖  
かったです。

また、衝撃波の速さが音より秒速  
100mも速いことにおどろきました。

他にも、人が爆発にまきこまれる  
と、いっしょんで体が消されてしま  
い、建物の窓ガラスなどが人と同じ  
ように無くなってしまうことが  
分かりました。

こんなに恐ろしい兵器は、世界  
で問題にもなっているし、無くして  
いかないといけないのに、今使おう  
としているのはあってはならない  
ことなので、どうにかして使えないよ  
うにし、戦争もしないような世界にして  
いかなければならないと僕は思い  
ました。

核を使わない、平和な世で生きていきたいと思いま



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の話を聞いて、エノラ・ゲイの直径が200mもあって、中心が100万℃、太陽よりも99万℃近く高いということが分かりました。そして、それが東京スカイツリーと同じぐらいの高さからおとされたことを知りました。原爆がおとされたときの映像も見て、どれぐらいの被害があったのかというのが、とてもくわしく分かりました。それから、エノラ・ゲイの殉者が母の殉者というのにもとてもおどろきました。真空になって、雲になるというのにもおどろきました。原爆雲の上が平面で、層の上には雲がいくことができないということもはじめて知りました。私は今日の話聞いて、原爆がどれだけおそろしいものか、それに、どのような被害がおこるのか、くわしく分かることができました。私は原爆ドームが負の遺産といわれて、原爆のおそろしさを後世に伝えていって、いるように、私もこのことを後世に伝えていきたいです。今日は本当にたくさんのお話を学べた90分だったな、と思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今まで原子はくたんについてあまり深く考えたことはなかったけれど、授業を受けて、原子はくたんでたくごんの方が苦労していることが分かりました。たとえば、原子はくたん直下後、にすぐに救助活動にあたり、死体の除去を行ったり、町の人を助けた人がいることをしました。他にも、放射線によって原爆症という症状にかかったり、今でも原爆を被ったことによるかかったように苦しんでいる人がいたりして、放射線がとても危険だということを感じました。熱線や衝撃波などで、重度のやけどや、死んでしまったりして原子はくたんはとても怖いなと思いました。今まで生活しているなかで、原子はくたんとはあまり考えたことはなかったけれど、これをきっかけに、少し考えることになりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/1

私は、原爆先生の特別授業を受講して色々な事を学びました。例えば、「リトルボーイ」という原爆は日本語で「少年」  
「小土女子」ということが京都が候補になっていたのに、たくさん文化があるという理由で候補からなくなったことなどを知れました。お話をしていた人の気持ちがとても心にひびきました。

そして、映像モリアムでそこにいるみたいでした。主人公のよしろうさんの映像がゾクッとし、原爆にやられましたとても悲しいんだなとあらためて思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、あんな事はもう二度と起  
てはいけないなと思いました。動画を見  
ていて、とてもこわかったです。原爆  
の被害は、思っていた以上に大きくて、  
びっくりしました。エノラ・ゲイの名前は、  
チベット大佐のお母さんの名前と聞  
いた時にどうしてお母さんの名前に  
したのだろうかと思いました。あと、原  
爆の名前が「リトルボーイ」で、少年とい  
う意味の言葉をなぜ使ったのかも気にな  
ります。原爆の表面温度が熱いのは知っ  
ていたけど、太陽よりも約1000℃温度が高  
いという事は初めて知りました。義三  
さんは、こんなにもつらい中で軍の仕事を持  
續けていてとてもすごいなと思いました。  
これから、またあのような事が起こらな  
いために、ぼくもできるだけ、この話を伝  
えていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の授業を受講して、  
 78年前にこのようなおそろしいことが  
 起っていたことにおどろきました。  
 たった一つで町ががれきしかない焼け  
 野原になってしまう物が地球に何  
 千万もあることにおどろいています。  
 東京スカイツリーほどの高さで爆発して  
 も半径500メートルに人が影だけ  
 になるという想像もしたことがないよ  
 うな物になってしまうことにびっくりし  
 ました。被爆者の体験した地獄のよ  
 うな体験をすゝ人がもう二度と必  
 ずないようこの話を忘れず、未来に  
 つなげていきたいと思いました。  
 このようなことが起きないように  
 むねがらは平和な日本を守れる人  
 になっていきたいです。とてもいい  
 お話を聞くことができました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、以前の社会の授業で第二次世界大戦でホツダ宣言を受け入れず、こうとつづけた日本に、アメリカが原子爆弾を落としたことは知っていました。しかし、原爆先生の特別授業を受講して、原子爆弾の被害が予想よりも大きく、たくさんの方が死んでしまったということが分かりました。その中でも、原子爆弾による3つの被害は、とてもおそろしい物でした。空気の性質を利用して今までよりはるかに強い爆弾を作った米軍の技術にはおどろくばかりです。このことにより、日本の多くの地域が被害に合い、人々の心に深い傷をつけました。ですので、これからの社会では、日本国憲法に基づいて、もう二度と戦争をせず平和にすごしていくことが大切だと思います。そのためにも、一人一人が世界を平和にするという意識を持ち、行動することが大切





名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

11/1

原爆は、人をたくさん殺してたくさんの被害を出してしま  
たことが分かりました。

ぼくは、この授業を受けて、原子爆弾や戦争は罪のない  
人々を巻き込んでしまつただの大虐殺だと思つた。今も  
戦争をやつている場所では、戦争をやめて、核をまだ作つ  
ている国は早く核を作るのを止めてほしいと思つまし  
た。

最後に一言だけ、ぼくたちが大人になつた時には戦争  
という言葉が聞かなくなることをねがひたいです。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は、原爆先生の特別授業を通じて、思ったことが二つあります。一つ目は、あんなにためて原子爆弾の恐ろしさを矢口述べた。いままでは少し威力が高い爆弾程度だと思っていました。しかしいざ話を聞いてみると五枚以上離れていないと危険であったり、外周温度が太陽の外周温度より高いなどとおどろきかかわってきました。二つ目は、二度とこのような事態を引き起こしてはならないということです。原爆により被爆者数が二十四万人、死者数が十四万人という大惨事を引き起こしているという事実を知り、このようなことがまた起こったらどんな事になるかと想像もできません。それがせくな、一人の米青一杯の供養だと思えます。原爆はもう製造も使われない。このことを僕は心に刻み留めました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆先生の特別授業を受けて、原子爆弾は、とても怖いことを改めて知りました。原子爆弾の中心部は、100万℃になつていて、外の部分は約7000℃になり、太陽の表面温度よりも高く、恐ろしいことが分かりました。地上にいるときの温度が3000℃で、鉄がとける温度より、高いことが恐ろしいと思いました。人間がこんな温度をあびたら、かけものこらず、しみがのこたのが恐ろしいと思いました。放射のうのせいで、死亡してしまつた人がたくさんいることが、悲しく思いました。原爆の候補になつた都市の中に京都があり、そこがいいとなつていま世にた。けれど、人間にと、てよい文化がいなどをはかいすることになるし、日本人の感情のこうり、してやめたことも知りました。私は、このようなことを知り、また改めて、このようなことがはやくなくなつてほしいと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生と義三さんのお話をきいて、  
原子火暴弾の本当のいかや、こわさを知ること  
ができました。

また、原子火暴弾のはんいが5kmほども  
広いにしかおしりました。ほかにも  
原子火暴弾のあつさが太陽(6000°)より原子火暴  
弾(7000°)の方があつさが高いことにおし  
りました。

爆発が終わっても放射線が残って、原  
火暴症がある人がとてもかわいそうだと  
思いました。

原子火暴弾おとし場所を決めるときに、京  
都はおい都たからやめようなとかんがえて  
いることがわかりました。

死体をはこがときに、気持ち悪くなっておかし  
してもまったりしていやになってもやりつづける  
義三さんたちの気持ちが強いことがわか  
りました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/1

私は、原爆先生の特別授業を受講して、学んだことが2つあります。1つ目は、今まで私に関係ないと思い、目をそらしてきました。ですが、今回の特別授業を受講して、改めて、原爆により、多くの人たちの大切な命がバーンとして消えてしまうおそろしさを実感しました。

2つ目は、17歳~19歳という若い人たちが被爆した人たちへの求文具かたごに行っていたということでした。しかも、9日間も被爆してしまった人を具かたごり、ときには、自分が「死んでしまうかもしれない」というふうな感じながら「求文具かたごり」を行っていたということは、とても強い意志が必要だと思いました。だから私も、1歩をあるにも強い意志を持ち、一つ一つやることをおしとけることが大切だと、特別授業を受講を聞いて感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の特別授業を受けて今まで私には関係ないと思い目をそむけてきました。あらためて原子爆たんのこわさを知りました。原子爆たんの表面温度が太陽より1000℃高いことや陸が3000℃で鉄がとける温度をはるかにこえていてびっくりしました。原爆先生の授業を受けるまでは原子爆たんによる被害がとれただけにおよぶかをくわしく知りませんでした。広島市の人口の7割が、原子爆たんにより被害を受けていることや4割が死亡してしまったことなどたくさんのお話が知れました。主人公の義三さんの被害を受けた人を助けようという気持ちがお話から伝わりました。今、色々な国が原子爆たんをもっていますが、何れもその国が戦争をしたとしても絶対に武器としてか兵器を用いてほしくありません。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて、思ったことが2つあります。一つ目は、もう原爆がおとされてほしくないということです。理由は、自分はまだ生きてたからです。二つ目は、戦争をもう二度とほしくないということです。理由は、自分も死にたくないけど、戦争によって死ぬ人が出るのがいからからです。







名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

もし私の目の前が今ただ一面に広がった灰色の世界  
と化したら。さきまでの町の風景が失われ、友達  
の姿が見れなくなったら、どんなにさびしいことなの  
かと感じました。原爆のたつた一発で日常生活が  
失われるのです。義三さんの見た人々の気持ちも  
ほんの少し分かった気がします。自分がま子こけに  
なり皮ぶかいたたれ、自分が自分でなくなったような  
気持ちになると思います。

義三さんの遺体を運びつけた意味は司令だけ  
ではないと思います。命をたつ間も知らず  
この世をたつた人々。熱風だけに包まれてにけ場  
もないまま世をたつた人々。命というのはあつという間に  
なくしてしまふことができるのだと感じました。

でも、爆発を起した外国は、京都をねらわなかつた  
たことの実情を知りました。結果的に爆発を起して  
も互いの文化を尊重し合うことの大切さを忘れて  
はいなかつたのだと感じました。

もうたれも、こんな思ひはしてほしくなつ。そのため  
にはこの実情を伝えていくことが大切なのだと  
思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、この授業を受けるまでは、戦争や原爆を軽視していたけど、原爆先生の70000の少年を見て戦争は尊い命が大量に亡くなって色々な人たちがつらい思いをして死んでくさくさな事だと知ったのと、原爆の被爆者たちは、原爆の被害をまのあたりにした事を知って、これからは命をあらためて大切に生活していきたいと思った。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11 / 1

読み方も、説明してくれた事もすべて、原爆を体験した人から、じつじきに聞いたからこそあんな風にできたと思うし、最後の三義さんのお話で、話の終りに、三義さんが原爆のことが記憶を思い出してくるためか、→そうにお話していた所、私自身も映像を話で聞いていて、とてつからたし、しかも、三義さんは「本当に体験した人」なので、もう思い出したくないと思うし、原爆ドーム、広島記念館、「行くのにきもち悪い」とおっしゃっていました。自分の体験した三ゴウの場にもう一度行くとならば、それは、とてきもち悪いと思うし、不安にもなりと私自身も心産そう思いました。

それでも、また、向き合おうとまあ三義さんは、ゆうがんだと思つたし、色々三義さんの「実体験」をははは「遠い物」を思い出さないと思います。

私は、この原爆先生の授業を受け、あんな信じられないことが、本当にあったものと、そして、詳しく、あの時のにおいも、どうも、何が本当なのか、そしてそんな話を「事」が実際にあったという事実、本当に色々今日は勉強になりました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生からの話しを聞いて、  
 1つの原爆が落ちることによって多くの人が  
 亡くなってしまう。体に大やけどを  
 おってしまう。遺体も残らなくなったり  
 します。戦いに行く人は15才~19才と  
 若く、今で言うと中学生や高校生です。  
 助けを求める人の手をつかんでひっぱろう  
 としたら、ひかかまけてすべってしまった。  
 という話しを聞いたとき、その人のこと  
 を考えただけでなみたが出てきました。  
 中には人間ではないような顔・体そ  
 している人もいました。何もかひのない  
 人々がここまでこんな目にあっている  
 ことを知って、心かいたくなりました。  
 さいこに原爆先生のお父さんの動画を  
 聞いたとき、平和記念資料館に行って  
 実物はこんな生ぬるものじゃないと言っ  
 いて、原爆が起きたときに本当にすこ今、た  
 んたなと思ひ、泣きながら話しを聞いてその



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/1

私はこの原爆の特別授業を聞いて、原爆のことを調べたときよりも原爆先生のほうが分かりやすく、原爆のことをよく知れました。

原爆で広島県の人口から亡くなった人々が14万人もの人たちが亡くなってしまい原爆はひさんだらたんだなと思いました。しかも遺体が残らないのが少しかわいそうだなと思いました。あと、原子爆弾投下都市の条件というものがあつたのを初めて知りました。

私は大人になったら広島県に行つて原爆ドームを見てみたいなと思いました。

あと、平和記念資料館も行ってみたいですね。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕はこの授業を受けて戦争特に原爆がもたらすのは死、それと恐怖だけだ”と思いました。まず、太平洋戦争の時ドイツが無条件降伏した後、世界の国々vs日本になった時、ポツダム宣言が出されて日本も無条件降伏が可能であったにも関わらず、自ら戦場に行っていない政府の判断で戦争を続け、原爆が落とされてしまったことは戦争の現実を生で見ている人から見ずには命令を出している人の手で生まれたことである”と、それが戦争の恐怖だと考えました。また、義三さんが見た助けを求めている人、けがが残っているだけの人、黒くこけた人、自爆攻撃用の戦車に乗せられた人全て戦争と原爆がもたらした死だと考えました。最後に自分はこの戦争の恐怖を未来の子供に伝え続けていくことで戦争の抑止になり、未来が明るくなる”と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは原爆先生の話をきいてみて、原爆というのがどんなにきげんなのかがよく伝わってきました。たとえばリトルボーイなどげんばくドームのことなと死亡率が40%で5人のうち2人がなくなっていくという言葉には「そんなに!」とおどろいてしまいました。そのほかにも候補になった都市など原子爆弾投下都市の条件などもくわしく話してくれたので、ちゃんと意味なども分かりました。

とくにリトルボーイのことはどこで爆発したりどうなたかと分かりやすかったです。ほうしゃせん、熱線(ほうげんせん)はとは何かとかがちゃんとくわしく最後まで話してくれたのでメモもちゃんと取れたし、意味も理由などどうなたのかとかも太陽よりあつい熱線だ、たり、毎秒440m音速は340秒の衝撃波の速さも分かりました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今までには、原子爆弾のことを知っていたが、  
二二東京から遠い広島や長崎の昔あ、た、話だと  
ただ漠然としていただけでしたが、今日目と耳で  
体験したこと、実感が少なからずおいてきました。

言ってしまうと「原爆」と「た、た、の爆弾」の一種として認識して  
いましたが、実際はた、た、発するだけでも特別授業がくくる  
ほどに、他とはわけのちがう代物であることも確認できました。  
原爆のことについてもおかりましたが、自分は別に人々の生きようと  
する力にも言がたれました。ですから特に、そんな人々の命や希望を  
無残にも奪ってしまう原爆の悲惨さに驚愕しました。

授業については、大きなモニターや大音量のおそろくスピーカー  
で臨場感と迫力があり、思おず身構えてしまうことも  
何度かありました。それほどにこの授業は自分らに気付きを  
与えてくれたのだと思おいます。また、動画の途中途中で  
はたむ先生の説明も、情報も整理できよりこの授業が  
実のあるものになったと考えます。

最後の被爆者によるシーンは心を打たれました。その場  
にいた自分らに全てを理解できるとは到底思おいません。しかし、理解  
しようとする努力が原爆のない世を実現することにつながると思おいます。





# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/1

今までは、戦争の物語は教科書などで読んでいたことがあったものの、あまり実感がわいていませんでした。しかし、今回の面白い話を聞いて戦争の怖さや被害の凄惨さを実感しました。とくに印象に残ったのは、よしろうさんが広島市の原爆資料館に訪れたときに、被爆した全身にやけどを負った人の様子を写したときに「写れさる」とおっしゃったことです。私は、よしろうさんの様子を写したときに「写れさる」と感じました。しかし、それがまた「写れさる」とあるとき、実際は私達が想像できるような姿だということを知ったからです。また、私がよしろうさんの話を聞き、想像するだけでも苦しかったのに、そのもとのおそろしい原爆時の様子を実際に見て人はすばらしいと感動し、胸が痛むほどのことに、そのおそろしい姿に「写れさる」と生きてきた人の話のおかげで、私達が戦争や原爆の怖さや被害の凄惨さを理解できると、とても感謝の気持ちを感じました。私の身まわりの被爆した人の話を聞く機会が（お話を聞かされた）ので、この授業では話を聞いて良かったです。今後は、この戦争や原爆の怖さを頭に留めておき、「写れさる」ということがあっても、「写れさる」と思っている人から、命を大切に生きていってほしいと思います。動画にもありますが、今は戦争の様子がでんでん人のことばかりで、原爆の被害があまり町にみられず、人がまたこのように生活が戻らなくなると、他人にこの被害を伝えたい人ばかりで、平和をとても大切にできると思っています。

ありがとうごさいます



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の授業を受講して  
広島に落された原爆のはかいかを知りました。  
また 原子爆弾投下都市の条件について  
私は、空襲がなかったところに落とすのは  
爆弾などに対する備えがあまりないところに  
落とすためだと考えました。

単戦争によってなくなる人々がいるのに  
今でも戦争がつづいてしまうことは  
絶対にダメなことだと思います。

私は、原爆病などの原爆を浴びるとどうなる  
のを知りたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

・爆心地周辺は約3000人でとてもあつたということ。

・広島市の原爆による被爆者は広島市の人口の約7割だということ。

・広島市の原爆の死亡率は約40%だということ。

・衝撃波の速さは毎秒440mで音速よりも速いということ。

・原爆ドームの元の名前は広島県産業奨励館だということ。

などの、原爆のつらさを改めて知ることができました。

また、小倉や横浜、新潟、京都が原爆を落とす候補の都市になっていたということや、原爆で皮膚が溶けるということ、後遺症が残るということなどのことを初めて知ることができました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受講して

- ・原爆による被害は、熱線、衝撃波、放射線
- ・広島、長崎以外にも候補になった都市もあり、中でも特に京都が強く推された
- ・相生橋は丁字だったため、原爆投下目標地点となった

・3つの都市の天候がわるければ投下は断念されていた

- ・原爆の表面温度は7000℃で太陽より高い
- ・おとされた土地等は3000℃にもなった

・広島市人口35万人の内の14万人が死亡し、死亡率が40%にもなった

・雲が上昇し、木蒸に広がることで原爆雲がでるということが分かった。また、衣服爆した人は、一瞬で肉がとれ、皮膚がぼろぼろになる人、その後後遺症が残る人などかいて、この人も大変な思いをしていると感じた。そして、原爆が唯一落とされた国として、後世にも伝えていかなければならぬことを思った。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原子爆弾が広島県と長崎県に落ちてきたことが2つあります。

1つ目は、なぜ原子爆弾を落とすのかということ。原子爆弾を落としても、その国には利益がないと思っただけです。逆に落とされた国は人がなくなるだけでどちらの国にとっても利益がないと考えました。しかし、その国にも考えがあると思っただけでその国の思いを言聞へないです。

2つ目は、日本人がやさしいということ。普通なら国民が何十万人もなくなると兼ねて思っただけから原子爆弾を落とされた国にも同じ思いをさせてやりたいという復讐心があるはずなのに日本は原爆を落とされた国に復讐してないからです。

今日の話を聞いて、原子爆弾を落とされた国は悪いと思っただけ。しかし原子爆弾を落とされた国にも別の考えがあるのって考えました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11 / 1

原子爆弾の恐じにじにかく驚き動ようしました。特に、BBCの映像で、いつもの日常が一瞬で原子爆弾によって破壊されてしまうところが印象に残りました。楽しく過ごしていたのに、一瞬で焼きつくされてしまったことが非常に残酷だと思ひ、決して使つてはいけない恐じいものだと思ひました。そして、被爆者の方の語の映像で、被爆したとちやその後の処理は、いつまでたつても忘れることのないほど非常に辛いものであることが分かりました。また、平和記念資料館で展示されているとしても、充分怖いものではあるが、實際は、そんなものではなく、言葉や文章では表せないほど、恐じいことであることが分かりました。さらに、原子爆弾が恐じいものであることは知つてはいても、太陽よりも熱いものが東京スカイツリーの高さという非常に近い所にあつたということを知り、想像を超える強さなつたことが分かりました。今回の特別授業で、原子爆弾の強さが想像を超えるほど強く、たく二人の命が一瞬で失われてしまひ、生き残つた人も非常に辛いと思ひましたことが分かりました。今日学んだことを次かに生かしていきまひです。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆の残酷さはそれなりに知っていたつもりでした。この授業を受講する前日はそれなりに原爆について調べておりましたが、今回原爆先生に教えてもらったことは実際にあつた写真や映像(テレビ)に再現された画像と原爆先生の分かりやすい解説を聞いて、私は知っていたつもりではなかった。原爆の事実を前よりも深く知りました。私が一番心を打たれたのは熱線・衝撃波・放射線のこの三つの実態(すなわち原爆の恐ろしさをただなんとなんとなんとしておぼろげに覚えていた)として知ることで、よりリアルな印象があり、ものすごく勉強になりました。先生の言っていた原爆ゲームがそれを体現していることを改めて理解できました。今回の授業は人生で最も大切な体験(きょう)でした。ありがとうございました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11 A

今日、原子爆弾のいかに知って、まが思ったのは、なぜ原子爆弾で日本をうけさせたのかです。東京のように空しくにしてはやりうちに焼くようにすればよかったですのにわざわざ手がかかる原子爆弾を作った、むしろよくなかったと思います。

次に思ったのは建物の骨ぐみかのことです。

話を聞いてなぜおれたかには分かりました。でも建物の骨ぐみはなぜとけてしまったのか疑問に思いました。

なぜなら鉄は約1500度とけるのに爆心地の近くは3000度で骨組がとけてしまったからです。

原爆弾の力が強くて人のことを考えなくてです。

それ以外でも、お話を聞いて、このことがとても大切なことだと感じました。私は原子爆弾のことが書いてある「はだしの侍」を読んだことがあって、それ以外にいろいろな表現でもっとも分かりました。ありがとうございます。





名前は裏面に記入してください

じゆこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

11/1

原爆というものがどのようなものだったのか、  
どれだけ大きなことだ。たのかが改めて分かり  
ました。アメリカが原子爆弾投下都市の条件を考  
えていてアメリカがどれほど準備していたのかが  
分かりました。原爆を落とす候補にアメリカが  
京都を候補に入れていたのに、そのさきをかんが  
えて、除外したので、アメリカが考えていたことが  
分かりました。原爆の重さは約47t、長さが3.12m  
という大きなものを落としたのだと分かり、びく  
りました。原爆が爆発したときのしうげきや、  
そのときの温度が、中心部分が100万℃、そのまわり  
が9000℃と、うーほうとも太陽の温度よりも高  
かったと分かりました。そのときの衝撃波が、大  
きかったと分かりました。被爆をした人たちがど  
んな思いをされていたのか、原爆先生が話して  
分かりましたし、どれだけのもので、たのかがよくわ  
しく知ることができたので、今後、忘れずにな  
ついでに話したいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/1

ぼくは、原爆先生の言話を聞いて、「7000℃の少年」の言話で心に残ったことがあります。それは兵隊が住民の救助をしている時に住民の人が「どんなにやけどをしていて、その兵隊がおうとしようと住民を助けたいという気持ち」が強いことが、心に残りました。そして原爆について学んだ事があります。それは広島に投下された原爆「トルボーイ」です。その原爆が爆発する時に、爆発の温度が中心100万度、外側の方7000℃で、太陽よりも高いことを学びました。そしておどろきました。原爆先生、貴重な経馬会ありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/1

原爆先生の特別授業を受講していつもの授業よりも原爆の説明がしても怖く感じられました。実際に現場だった人の話を聞くことで、原爆の怖さや周りのみなさんについてよく分かりました。私はこの授業を受講してから戦争をもうしてほしくないと思いました。また、説明する人の声の大きさやトーンを毎日変えることにより、おもしろいと感じてもらうための工夫がとられているのを感じました。最初の画面に映っていた「7000℃の少年」というものは、被害者が原爆の7000℃の火によって燃やされてしまったのだと最初は思っていました。ですが、説明を聞いて広島に落とされた原爆の「原子爆弾」は「小さな少年・少年」という意味を知り、原爆は中心で7000℃が側面で7000℃と知ったので、原爆のことを意味して「少年」と分かりました。今日の授業で原爆についてとておもしろいなことが分かったと思います。





じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回、原爆先生の特別授業を受けて、  
原爆について良く分かりました。

日本が巻き込まれて、そこで日本が「けいぞう」てさせてしまった  
ことに私はおどろきました。

映像と先生の話がまじって、よく分かりました。

原爆が落ちてきて、火が燃え  
ひろがって被災者、それだけ被害あったのがよく

分かりました。被災者は必死の思いで、けいぞうと助が  
あつた人もいから、その人の分まで私たちは生かしてあげたいから、  
原爆は太陽より熱くて、皮のうちはかきとるから、  
熱いものであると分かり、原爆は絶対に使わ  
ないで」ということを考えました。

被災者は、全く、悲しいなとにまきこまれて、その良を  
守ってくれる人、軍人もまきこまれて、すごく悲しいと感じた  
と考えました。そして、軍人にいかにしては「助けて」と言っ  
てくる人を助けていなくて、すごくいやな気持ちになつたと  
思うし、これからは絶対にこうゆうことが起きないように  
なつてほしいなと思つた。世界戦争はもう二度と起きな  
いようにしてほしい。今度は私たちが大人になつた時、それを起さな  
いようにするべきではないかと、私は考えました。





原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

わたしが今日の原爆先生の授業を通してわかったことは、3つあります。

1つ目は、広島に投下された原子爆弾は、これは、400トンに相当する重さごとおくに行くこととなけたアメリカ人たちは、瀬戸内海側にはげたといいことでは。

2つ目は、原爆によって起こることです。それは、熱線、レウケミア波、放射線が、あって、この3つが、原爆によっておこることです。

3つ目は、太陽の表面温度は6000℃なのに、はくたんの表面温度は7000℃で、太陽よりも1000℃もあつたことです。

私は今日の授業によって、昔の人々のつらさや、わが国の人々のつらさや、よくわかりました。

今日の広島のことや、原爆について、おしえてくれてありがとうございました。